

# くさびら



KUSABIRA

神奈川県キノコの会 会報 第46号

2024.5.26



神奈川県キノコの会

# くさびらNo. 46

## 目次

記念講演		室内勉強会の記録	70
冬虫夏草の不思議	盛口 満 2	野外勉強会・研修会の記録	73
野外勉強会の主な検討種	三村浩康 9	平塚周辺キノコ調査	86
野外勉強会の楽しみ		平塚市博物館 新標本目録	92
・7月2日 津久井湖城山公園	武田敏夫 38	2023 (R5) 年度寄贈された資料	92
・7月9日 こども自然公園	山村佳也 38	神奈川キノコの会 会則	93
・8月20日 八菅山いこいの森	宇都宮正治 38	2023年度役員名簿	94
・9月17日 野島公園	馬渡久子 39	原稿募集・投稿規定・バックナンバーのご案内	95
・10月20日 小田原いこいの森	赤堀暉生 39	くさびら誌名解説	96
「検証キノコ新図鑑」に関する報告	城川四郎 40	編集後記	96
アラゲタチゴケチャワソウの紹介			
	升本宙・細野天智 42	<b>話題</b>	提供 山田正憲
2023年のきのこ	伊東健二 47	・キノコが会話	10
野外勉強会から精査2題	井上幸子 53	・キノコと台風のつながり	46
2023年に食べたきのこ	柳 貴裕 55	・原木シイタケ・ストーリー	72
キノコの蛍光反応について	三浦航志郎 62	・黒トリュフの人工栽培成功	8
昨年度印象に残った菌類	木村航一朗 64	・冷凍するとうま味アップ	57
「泉の森」で野生きのこ観察体験	大木伸一 66		
入会挨拶	青木 渉 68		
	朝倉 純 68		
2023 (令和5年) 年度行事報告	69	備考: 本文中の写真の一部※マークは巻末カラーページに掲載	

### 表紙写真の説明

中島 稔

#### ツキヨタケ *Omphalotus japonicus*、(ツキヨタケ科 *Omphalotaceae*)

2023年は変な年だった。キノコも例外でない。

横浜市の「寺家ふるさと村」でツキヨタケが発生したのだ。それもクスギの倒木からである。ツキヨタケはブナ帯のキノコである。神奈川県では丹沢・箱根の山地のブナの樹に発生する。

一方「寺家ふるさと村」は横浜市青葉区の市民公園で、標高は海拔29mである。当然ブナの樹は存在せず、代わりにクスギの樹となったわけである。

少しクスギの樹を観察してみると、風で大木のクスギが地表に倒れてからツキヨタケが発生。それも地表に強く叩きつけられた部分に集中して20個ほど発生した。

昔から、雷撃で倒れた樹からはキノコが発生するとか、近年ではシイタケ樽木をハンマーで衝撃を加えると増量するという話と一致する。まだまだキノコには変な話が有りそうだ。

写真撮影：中山 勉 (東京都在住、友人)

(円内はツキヨタケ特有の根元の黒染み) 写真撮影：弘田久美子